

研究例会

第197回研究例会

平成20年11月29日（土）
於 成安造形大学

1. エドワード・バーン＝ジョーンズのステンドグラス
— 1870年代を中心に —
佐田明美（関西大学大学院 博士前期課程）
2. 絵本の中のデザインと教育
— ピエール・プロブスト「カロリーヌシリーズ」について —
松村由紀（京都工芸繊維大学 博士後期課程）

第198回研究例会

平成21年2月7日（土）
於 京都工芸繊維大学

1. 昭和初期の日本の近代建築における「合理主義」
— 東京帝室博物館設計競技を
手がかりに —
森本浩司（大阪大学大学院 博士前期課程）
2. グラフィックデザインを中心とする中国のデザイン史
杜 婉清
（京都市立芸術大学 博士後期課程修了）

一般会務報告

平成20年度第5回役員会 議事録
日時：平成20年9月6日（土曜日）
12時30分より

会場：大阪芸術大学

出席者：伊東徹夫、今井美樹、梅宮弘光、太田喬夫、小宮容一、島先京一、高井節子、谷本尚子、廣田孝、藤田治彦、三木順子、藪亨

議題1. 平成20年度第4回役員会議事録が一部修正の上、承認された。

議題2. 2月例会について、発表候補者は次の二名が上がった。

竹内有子（大阪大学博士後期課程）「ラファエル前派の絵画とデザイン」

杜 婉清（京都市立芸術大学博士課程修了）「中国デザイン史」（仮）

議題3. 学会賞選考について、下記のとおり報告がなされ承認された。

学会賞については該当者なし。

論文賞については、橋本啓子「倉俣史朗の1970年代のインテリア・デザインにおける感覚的なものについて」に決定した。

作品賞については、福本繁樹、〈和綴じ豆本『布象嵌』・鬼本『かぞえうた』〉に決定した。

議題4. 意匠学会第50回大会運営決算案が提示され、承認された。

議題5. 第51回大会について、次回の審議に持ち越されることになった。

議題6. 創立50周年記念事業について。編集委員会から、『デザイン理論』に特集記事を掲載する提案がなされた。

記念事業委員会を立ち上げることを決定した。次回役員会で委員会のメンバーを決めること

になった。

議題7. 各種委員会報告

編集委員会

1. 次号53号の発行が1ヶ月遅れているが12月までには発行可能であることが報告された。
2. 『デザイン理論』の表紙デザイン案が回覧され、デザイン趣旨が説明され、その方向で進められることが決定した。

広報委員会

会報は64号を編集中であることが報告された。

学会賞選考委員会

受賞者の公表の時期を確認したいとの意向が示された。次回役員会で検討される予定である。

議題8. その他

1. 11月例会について、次の事が確認された。
開催日：11月29日（土）、会場：成安造形大学
発表者：1. 佐田明美（関西大学）「エドワード・バーン＝ジョーンズのステンドグラス — 1870年代を中心に」
2. 松村由紀（京都工芸繊維大学）「絵本の中のデザインと教育」 — ピエール・プロブスト「カロリーヌシリーズ」について —
2. 福井工業大学デザイン学科新設記念事業のシンポジウムへの後援依頼に対し、受諾することが確認された。
3. 事務局より、新入会員2名について提案があり、承認された。

平成20年度第6回役員会 議事録

日時：平成20年11月29日（土曜日）

12時30分より

会場：成安造形大学

出席者：伊東徹夫、今井美樹、梅宮弘光、太田

喬夫、谷本尚子、羽生清、廣田孝、藤田治彦、藪亨、山口正臣

議題1. 平成20年度第5回役員会議事録が承認された。

議題2. 2月例会について、発表者が竹内有子氏から森本浩司氏に変更されることが承認された。

議題3. 第51回大会について

日程の第1候補を7月4、5日、第2候補を11、12日とすることが決定した。

会場の大阪大学の豊中キャンパス（『無料』だがパネル発表できない）と中之島センター（有料、12万円/日。ただし、10万円の補助金は可能）について検討された。

議題4. 創立50周年記念事業について

『デザイン理論』特集号は、春号に10数ページの特集を載せることになった。

企画委員を設置する必要があるが、特に希望者がいないため、暫定的に会長、副会長、事務局らが担当するが、希望者があれば募ることになった。

内容について、会の歩みのデータ制作などのアイデアが出された。

議題5. 各種委員会報告

広報委員会

第51回大会のためのタイムスケジュールを作成中であることが報告された。

会報は編集中であることが報告された。

編集委員会

次の事が報告され、承認された。

次号第53号は、12月20日を目標に作業中であるが、年越しする可能性もある。第53号の印刷部数は、春号と同じく350冊印刷する。第54号の編集事務は梅宮会員が担当する。

議題6. 学会賞選考委員会から提案された改訂案について。

学会賞の発表と公表について、授賞式を9月例会で行うことが望ましいとの意見が出された。ただし、今年度分は、①大会の創立50周年の際に授賞式を行うこと、②講評は選考委員会と会長の連名で行い Web で発表されることが決定した。

今後の発表の時期、形式に就いては会長、渡辺論文賞選考委員長、小宮作品賞委員長の三人で協議し、決定することとなった。

平成21年度第7回役員会 議事録

日時：平成21年2月6日（土曜日）

12時30分より

会場：京都工芸繊維大学

出席者：伊東徹夫、今井美樹、上羽陽子、梅宮弘光、太田喬夫、佐藤敬二、佐藤博一、鈴木佳子、竹内幸絵、谷本尚子、並木誠士、廣田孝、藤田治彦、三木順子、藪亨、山口正臣、渡辺眞

議題1. 平成20年度第6回役員会議事録が承認された。

議題2. 5月例会について、次のことが確認された。

京都女子大学を会場とし、5月16日か30日に開催されること。

発表者を平芳幸浩氏（京都工芸繊維大学）、竹内有子氏（大阪大学）とすること。

議題3. 第51回大会について

大会発表候補者として、京都市立芸術大学1人、大阪芸術大学1人、大阪大学1人、京都工芸繊維大学1人、廣田孝、竹内幸絵、谷本尚子が挙げられ承認された。

パネル発表候補者として、上羽陽子が挙げられ承認された。

レジュメについて、締切を5月例会までとし、応募を促すことが決まった。

シンポジウムの内容は開催校にまかせることとなった。

議題4. 創立50周年記念事業について。

意匠学会50周年記念号について、デザイン理論とは別に独立したものとして出版すること、経費は7月大会で補正予算案を作成提出すること、5月例会で予算案の原案を作ることが決まった。入稿業務の扱いは事務局が担当することが決まった。

議題5. 編集委員会のメンバー交代について。

次の編集委員長の候補が挙げられ承認された。3年後役員の改選時に公表されることとなった。

吉村典子（宮城学院女子大学）

伊集院敬行（島根大学）

議題6. 各種委員会報告

編集委員会

次の事が報告された。

『デザイン理論53号』は1月発送になった。このペースが妥当なので、春号、秋号を夏号、冬号にしたい。5月に夏号の原稿受付を開始する。投稿者には連絡済である。編集費について。デザイン料2万円、ゴム印代3万円が別途かかった。これを修正予算に含める。

学会賞委員会

学会賞を11月例会で発表すること、今年度分は7月の大会で発表することが報告された。

議題7. その他

例会について

9月例会の会場を京都市立芸術大学とすることが決まった。

11月例会において学会賞の授与式と懇親会も行うことが確認された。会場候補として、大阪芸術大学、武庫川大学、芦屋大学、神戸芸術工科大学が挙げられた。

2月例会については未定。

報告1. 新公益法人法のアンケートについての対応が報告された。

報告2. 前事務局から、バックナンバーの売り
上げが2万5千円となったこと、それ以外の
在庫に関しては処分したことが報告された。

会報担当連絡先
〒610-1197
京都市立芸術大学美術学部第3研究室
伊東徹夫 宛
TEL 075-334-2255 FAX 075-334-2255